

編集後記

米国のNIST（国立標準技術研究所）には、原子分光のデータベースがあります。実験で得られた電子遷移の発光スペクトル線の同定時など、プラズマ・核融合学会の会員に限らず、おそらく世界中の多くの研究者・開発者が利用していると思われます。私自身も大学院生の時に、NISTのatomic spectroscopy databaseをよく参照しておりました。NISTを利用しつつ、学生時代の私が率直に感じたことは、これだけの原子分光データベースを無償で世界中に提供する、米国という国の研究水準の高さと、何よりも、その懐の深さです。世界をリードする自負・姿勢と、何というか、学生ながらに余裕すら感じました。「アメリカという国はすごい」という印象を、その時に漠然と植え付けられた感があります。

時が流れ、この編集後記を執筆する数日前ですが、同僚の一人からNIST atomic spectroscopy databaseが閉鎖される、という一報を受け取りました。ちょうどエイプリル・フール近辺だったので、何かの冗談かと思って

いると、どうも本当の様です。まさか自分が生きている間に、そんなことが本当に起こるのかと思うほどの、衝撃的なニュースでした。ご存知の方も多いと思いますが、閉鎖という方針に反対する抗議の署名サイトも立ち上がっています。https://oppose-the-layoff-of-the-nist-atomic-spectroscopy-group/

NISTの件ではないですが、身の回りにあるものが急になくなる、使用できなくなると、やはり困ります。研究だけではなくもっと身近な事柄でも、なくなると困るものが多くあります。コロナウイルスの緊急事態宣言から5年がたち、この間、生活容体の変化に翻弄されてきました（私事ですが、この間に2,000 km離れた職場に異動することになり、これまた大変でした）。一旦落ち着きを見せ、今ではまるで何もなかったかのような日常が戻りつつあります。私のような能天気な人間は、すぐに過去の困った出来事を忘れてしまいがちですが、NISTの件もあり、何でもが当たり前ではないということを、改めて考えさせられています。（富田健太郎）

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	安藤 晃		
副 会 長	坂本瑞樹(推薦委員長：研究助成)	花田磨砂也(男女共同参画委員長)	
常務理事	市口勝治(総務委員長)		
理 事	渥美寿雄 居田克巳 稲垣 滋 井 通暁(推薦委員長：学会賞)		
	大原 渡 兒玉了祐(広報委員長)	古閑一憲(支部・地区研究連絡会委員長)	
	坂本克也 白藤 立 仙波智行(財務委員長)	高橋幸司	
	田中康規(企画委員長)	鳥養祐二(研究部会連絡委員長)	村上 泉(編集委員長)
	藤田隆明(年会運営委員長、企業展示検討委員長)	林 伸彦	
監 事	前田達志 立松芳典		

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡(山口大) 応 用 白藤 立(大阪公立大) 核融合プラズマ 林 伸彦(量研) 核融合炉工学 渥美寿雄(近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：村上 泉(核融合研) 副委員長：鳥養祐二(茨城大)
エディタ：前原常弘(愛媛大)、稲垣 滋(京大)、重森啓介(阪大)、高橋裕己(核融合研)、石澤明宏(京大)、大矢恭久(静岡大)
編集委員：伊神弘恵(核融合研)、池田善久(愛媛大)、伊藤 悟(東北大)、宇藤裕康(量研)、岡本征晃(石川高専)、小田靖久(摂南大)、恩地拓己(九大)、河内裕一(名大)、川面洋平(宇都宮大)、小島完興(量研)、小林達哉(核融合研)、佐野孝好(阪大)、篠原正典(福岡大)、白戸高志(名大)、曾根宏隆(豊田自動織機)、高橋一匡(長岡技科大)、富田健太郎(北大)、中野治久(核融合研)、中村友祐(名大)、成田絵美(京大)、難波愼一(広島大)、針谷 達(岐阜大)、皇甫度均(筑波大)、古川武留(神戸大)、松岡清吉(量研)、本島 巖(核融合研)、山崎広太郎(広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛て送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第101巻第5号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2025年(令和7年)5月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: https://www.jspf.or.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。